

# 「障害当事者がプロデュースする誰にもやさしい街づくり」の担い手育成

平成18年からこれまで、地元の大学教授や介護福祉、観光等の専門家らの支援のもと、障害者スポーツを地域のイベントに組み込む手法のバリアフリー化に積極参加する若手障害当事者を中心に「バリアフリーアドバイザー」として育成し、彼らをオピニオンリーダーとして「誰にもやさしい街づくり」が進められてきました。

バリアフリー調査



研修会



講演会



誰にもやさしい緑の森づくり



誰もが担げるユニバーサル神輿



新しい障がい者スポーツづくり



アイススレッジホッケー



障がい者スポーツ体験

バイスキー



車いすカーリング





アダプテッドスポーツ(障がい者や高齢者、子供たちも参加できるように修正創作された新しいスポーツ)を普及させるため、用具の開発・製作や体験会などを実施してきました。

## 用具の開発・製作



用具開発のための会議



ホームセンターなどで材料を調達し製作



## ローラースレッジの体験会



屋内外を問わず、オールシーズンで体験会を実施

## 車いす野球の体験会



障がいの有無を問わず、子供や高齢者も参加でき、誰でも楽しめます。

※この資料は前身である任意団体「カムイ大雪バリアフリー研究所」として、バリアフリー推進によって地域の再生を図るとともに、障がい者や高齢者など地域の暮らしに不安のある人々の活動の拡大をめざすことにより、地域のノーマライゼーション化を実現し、もって、北海道、日本の社会のノーマライゼーション化に寄与することを目的に平成18年6月に車いす紅蓮隊とその関係者によって設立し、今まで活動してきた記録です。